

川崎区区民会議だより

かわさきく くみんかいぎだより

発行：川崎区役所総務企画課

〒210-8570 川崎区東田町8番地

電話：201-3267 FAX：201-3209

No.4



区民会議集会を開催します

12月15日（土）の午後1時半から、川崎区区民会議の主催で区民会議集会が開催されます。区民会議の主旨や役割を区民会議委員が説明し、課題解決に向けた取り組みについて区民会議委員と区民の皆さんが意見交換を行います。

区民会議委員が発案し、今年度第1回の区民会議で了承を得たもので、10月16日に行われた第2回区民会議で具体的な内容が決まりました。普段審議を行っている川崎区役所から飛び出して、今回は田島支所で行います。意見交換のテーマは、区民会議の今年度の審議テーマでもある「地域コミュニティの充実」です。

普段の区民会議や各専門部会では傍聴人に発言の機会はありませんが、今回は区民会議委員と直接語り合うことができるチャンスです。ぜひ足をお運びください。

各専門部会・第2回区民会議を開催しました

9月26日に第2回地域防災部会が、27日に第2回シニアパワー部会が開催されました。それぞれ第1回部会での議論を基に、より議論を深めました（地域防災部会についてはP2、シニアパワー部会についてはP3に詳細記事）。

10月16日、第2回区民会議が開催されました。専門部会での議論の経過を各部会長が報告した後、今年度審議テーマである「地域コミュニティの充実」に向けて、審議しました（詳しい内容についてはP4参照）。

地域防災部会

地域防災部会では冒頭で、9月6、7日に上陸した台風9号の被害状況と区役所の対応について、事務局から報告がありました。

区内の被害状況と区役所の対応

✖ 風に煽られて転倒、怪我をした人が1人いたほか、倒れた木でフェンスと乗用車が破損しました。

区役所では6日の13時に災害対策警戒本部を設置。6日夜間から朝にかけて24人がパトロールや情報収集にあたりました。

日時 9月26日(水)
午後6時半～8時半
場所 川崎区役所7階会議室
出席者 委員10人
傍聴者 0人
議題

- (1) 審議テーマに係る課題について
- (2) その他

その後第1回部会での方向性を基に、さらに議論を深めました。主な意見を紹介します。



⊕ 昼間は地域から若い人がいなくなるので、高齢者や専業主婦など地域に残っている人が、日ごろから集まりなどを持ってコミュニケーションを強くしておくことが大事。

⊕ 防災に関する情報は町内会長や民生委員が知っているだけでなく、大規模マンションなどの自主防災組織にも情報を伝えて、連携プレーを取るべき。



⊕ 市政だよりやホームページなど、従来の広報手段だけだと、知っている人は知っている、知らない人は知らないという状況になりかねない。新しい視点の広報が必要。

⊕ 外国籍の人たちが災害時にパニックにならないように、色々な言語での情報発信が必要では。



⊕ 自動販売機には飲料が沢山入っている。業者と協定を結んでおいて、災害時に利用することはできないか。



⊕ 自宅が倒壊して備蓄品が使えなくなった、避難所が停電してしまったなど、事態を細かく分類して対応を考えておく必要があるのでは。

⊕ 川崎区は地盤の低いところなので、地域ごとの雨水の処理状況を知っておいた方が良い。



シニアパワー部会



シニアパワー部会では冒頭、テレビ放映されたニヶ領せせらぎ館での地域デビューセミナーについての番組を見て、部会での共通認識としました
＝写真。



日 時	9月27日(木)
	午後6時半～8時半
場 所	川崎区役所7階会議室
出席者	委員7人
傍聴者	1人
議 題	(1) 審議テーマに係る課題について (2) その他

ニヶ領せせらぎ館の「団塊の世代 地域デビューセミナー」

平成19年4月28日(シニアの日)、多摩区にあるニヶ領せせらぎ館で市とNPO法人多摩川エコミュージアムが行ったセミナーです。多摩川クリーン作戦、多摩川自然体験など一日体験に、多くのシニア世代の人たちが参加しました。

その後、前回の審議で出された取り組みの方向性について、さらに議論を深めました。主な意見を紹介します。

✦ シニア世代の人たちはいろいろな経験やノウハウを持っているのに、それが生かされていないと感じる。多彩なメニューで地域と触れ合うきっかけを作ることが大事。



✦ シニア世代の人たちは何かを押し付けられることが嫌い。仕事をしなければならないとか、させられるというのではなく、集まったら面白そうだというコンセプトが必要。

✦ シニアの人たちは指導者としての認定を受けるとか、資格を取ることに熱意を持っていると思う。茨城県のシルバーリハビリ体操指導士のような、シルバー向けのリハビリ体操のようなものをしてはどうか。



✦ いろいろな人が入ってこそコミュニティであるし、それでこそ参加しようという気になるのでは。シニアだけに対象を絞るのではなく、老若男女が楽しめる内容の企画にするべき。

✦ チラシなりを配って呼び掛けるだけではなく、何かイベントをやって人に集まって一緒に汗をかくことが大事では。

第2回区民会議

第2回区民会議では、両部会長による部会報告に先立ち、これまでの区民会議での取り組みについて、荒井副委員長がスライドを使って報告しました。

その後地域コミュニティの充実について審議し、課題解決に向けた取り組みの方向性について確認しました。また、前述の区民会議集会について日程などの具体的な提案があり、了承されました。区民会議集会で行われるパネルディスカッションでは、魚津委員長、弾塚副委員長、荒井副委員長、藍原部会長（地域防災部会）、星川部会長（シニアパワー部会）、昨年度のイメージアップ部会の部会長だった金岩委員、同じく子育て支援部会の部会長だった田辺委員がパネリストをつとめることになりました。

日時 10月16日（火）
午後6時半～8時半
場所 川崎区役所7階会議室
出席者 委員14人、参与2人
傍聴者 3人
議題

- (1) 地域コミュニティの充実について
- (2) 区民会議集会について
- (3) その他



第2回区民会議での主な意見を紹介します。



⊕ 防災についても時間帯によって中心になれる人は違うので、皆で考えなければならないと思う。そう考えると、地域防災もシニアパワーの活用も一つにつながっているのでは。

⊕ シニア世代が講師になって経験や力を発揮してもらい、区民講座を開いてはどうか。同じシニア世代にいきいきしてもらえるような講座や、シニアの力を地域に還元する、ボランティアにつながっていく講座などが考えられる。



⊕ 地域防災の観点からは、市民救命士の資格をできるだけ多くの人が取るのが良いのではないか。

⊕ 防災にしろ、シニアの地域参加にしろ、世代間の交流、地域間の交流を持つことが重要と思う。マラソンなどのイベントはそのために有効なのではないか。



⊕ イベントは続けることで、だんだんと認知されていく。イベントの中でステージを設けて、シニアのフェスティバルのようなものを行うなど、外に出て、目に見える形で披露していくことが大事。

🔊 区民会議情報はホームページでもご覧になれます。
<http://www.city.kawasaki.jp/61/61kawasakiku/kuminkaigi/index.htm>